

南花台に新たな花が咲く

まちづくりだより



〈発行元〉
南花台まちづくり会

会長：中源 裕司
(0721-63-2331)

事務局長：中林 幸一
(0721-63-0392)

編集担当：東 映道
(090-8570-6221)

設立に多くの団体が賛同

住民が力を合せて地域課題の解決に向けて取り組む「地域まちづくり協議会」。今、市内の多くの小学校区で設立が進んでいます。

そのような中で、平成25年10月18日(金)、南花台ふれあいプラザにおいて、市内で5つ目となる「南花台まちづくり会」未来に向けて！咲くや心に南花台」の設立総会が開催され、多くの地域団体、住民が集まりました。



金曜日の夜にも関わらず多くの住民が集まりました。

設立までに4年

南花台小学校区では、平成21年12月から約4年におたり、住民有志の力で、南花台まちづくり交流会が開催され、南花台の地域課題や、10年後、20年後に向けた地域づくりについて自由に情報交換や交流が行われてきました。

特に、平成24年末には、市の危機管理室から担当職員を招き、自主防災や防災訓練に関する取り組みについて検討を行う中で、安全安心の地域づくりについて、必要性が認識されるようになりました。

その後、平成25年6月から9月にかけて、南花台で活動する様々な団体の代表が集まり、名称や会則、組織体制、活動方針、初年度の事業計画、予算案などを検討し、多くの意見を集約してきました。



そして、平成25年10月18日(金)には、校区内の自治会や福祉団体、青少年団体、学校・幼稚園など、多くの団体・機関・施設等からの賛同を得て、設立総会が開催されました。

会の目的や名称は

設立総会では、南花台小学校区において、地域資源を有効に活かし、住民・団体・行政が協働し、様々な地域課題の解決に取り組むながら、住民同士の顔の見えるつながりや団体のネットワークを深め、良好な地域社会の構築を目指していることが承認されました。

今後は、ボランティアアスタッフを募りつつ、様々な活動に取り組む予定です。

なお、組織の名称は、準備会において、多くのアイデアが出された結果、よりシンプルに、誰が聞いても分かりやすく、「南花台まちづくり会」としました。

また、この名称に南花台らしいサブタイトルを付けようと、「未来に向けて！

芝田啓治市長が来賓として参加し、まちづくりの基本は、地域のつながり・絆を深め、地域住民の皆さんと行政が連携を図ることだと語り、南花台まちづくり会の今後の活動に熱いエールを送りました。

また、南花台まちづくり会の地域まちづくり活動を支援する地域サポーターの2名の市職員も併せて紹介されました。

緊張の面持ちの運営委員



咲くや心に南花台」という言葉を付けました。

交流カフェを開催

今後の取り組みの一つとして、地域住民の誰もが自由に参加し、地域情報を交換しながら楽しく交流できる場として「まちづくり交流カフェ」を開催します。

ここで出されたアイデアや意見を吸い上げ、安全・安心につながる地域づくりに活かしていく予定です。

直近の「まちづくり交流カフェ」は、南花台小学校の隣にある南花台東集会所で、年明け1月25日(土)10時から12時です。お茶やお菓子を囲みながら、和やかにお話をしませんか。

役員など決まる

初代の会長に選出された中源裕司さんは、「南花台地域を一つに、役員や運営委員を始め多くの住民と一緒に会の運営に努めたいと思います。また、積極的に参加できる方は、ぜひ運営委員となっていただき、一緒に活動しましょう。」と、出席者に呼びかけ、今後の活動への積極的な住民参加を期待していました。

なお、役員及び運営委員は下記のとおりです。

会長	中源 裕司
副会長	池西 裕二
副会長	阿草 進治
副会長	山本 淑子
副会長	森本 桂呂
会計	岡本 満子
事務局長	中林 幸一
会計監査	兼頭 郁夫
会計監査	福島 啓司
運営委員	原田 信義
運営委員	姫岡 和夫
運営委員	矢野 友義
運営委員	中山 享
運営委員	牧 芳弘
運営委員	西川 久子
運営委員	小沼 啓子



こけら落としは炊き出し訓練で始動

具体的な活動では、平成25年11月9日(土)に、南花台小学校の開校フェスティバルに参加し、地域の安全安心につながる炊き出し訓練を実施し、児童や保護者等にアルファール化米を提



1200人食のアルファール化米をつくりました。

南花台小開校フェス盛大に開催



11月9日(土)に開催された開校フェスティバルでは、たくさんのご支援、ありがとうございました。南花台まちづくり会にご協力いただいて1200食ものアルファ化米を作っていただき、子どもたちはもちろん、地域の方々にも大変喜ばれ、大好評でした。心よりお礼申し上げます。食事後に手紙をつけた風船を飛ばしました。すると、11月28日に「三重県で手紙を見つけたよ」と愛知県の方から手紙が届きました。手紙には、「開校おめでとう」という言葉と共に、银杏とはだか祭の写真と紹介が添えられていました。人と人の絆を大切にしていきたいとの熱い思いがこんな形でつながり、とても感動いたしました。

午後からは地元がたくさんのお個人・団体様のご協力、多くのブースを用意していただき、子どもたちは楽しく活動させていただきました。また、梅花中学・高等学校のチア部「レイダース」によるチアリーディング、すばらしい演技を目の前で見せていただき、感動的でした。

「カイクウ・オメデトウ・ユメ・キボウ・心一つ・コレカラモ・ガンバレ・元気・勇気・笑顔」とエールを送っていたきました。熨斗コーチと部員さんのお話は「友情と信頼」で、友だちを信頼し合い、協力し合って共に努力するというお話も心に残りました。これからの南花台小をどうぞ宜しくお願いいたします。南花台小学校



子どもたちを見守る目



安全・安心のまちは、誰もが願いますが、実現は並大抵ではありません。だからといって、放っておいてよくなるものでもありません。我が街に必要と思うなら、自分で出来る事から始める。無理をしない、細やかであつても、長く続けられるように。結果はすぐに出なくても、前よりは少しマシになったかなくらいの気持ちで続けたいのではありません。

私たちが見守り隊は、地域の学童が事故なく過ごせる環境を目指して活動しています。通りや街角で元気な声を聞き、公園や広場で走り回る姿を見たいものです。そんな様子を眺めながら我々も元気を貰っています。

地域の絆で、少子高齢化を押し戻しましょう。
矢野友義

子ども会一足早くクリスマス

日頃は、南花台子ども会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

12月14日(土)に、子ども会主催のクリスマス会を開催しました。

チーム対抗で、〇×クイズや伝言ゲーム、じゃんけん列車などの色々なゲームを楽しみました。1年生から6年生まで学年に関係なく、皆で仲良く

楽しいひと時を過ごしました。子どもたちは、一足早くクリスマスケーキやプレゼントももらい、とても嬉しそうなお顔を覗かしていました。これも、地域の皆様のご支援のおかげと、感謝しています。今後とも、子どもたちの健やかな成長を温かく見守って頂きますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



西川久子

防犯ステーションと花

防犯ステーションは、地域の安全・防犯活動を推進しようと、自治会の全面的なバックアップで、平成21年12月に地域のコミュニティセンターとして開設され、今年で5年を迎えます。

当初、開設にあたっては、スーパーコノミヤより店舗30㎡を10年間無償で借用しました。これに対するコノミヤへの御礼並びに街を美しくしようと、バス通りに面した駐車場の周囲に置かれたプランターに、春夏はポーチユラカを、秋冬はパンジーや葉牡丹を植えました。また、個人で多くの花を植えてくださる方もおられます。街をきれいにし、花を植えることは、防犯と一見無関係のように思われますが、これもまちづくりの一環で、犯罪抑止力につながる立派な防犯活動です。



福島啓司

編集後記(事務局から)

昨年10月18日、南花台、UR、クローバーハイツの各自治会をはじめ、南花台で活動する様々な団体や住民が協力し、地域課題の解決に向けて取り組む組織として、「南花台まちづくり会」が発足しました。

南花台は、開発から30年余りが経過し、各々の団体や住民が人と人の絆を大切に地道な活動を推進して来たおかげで、安心・安全で明るいまちが形成され、現在に至っています。

しかし、10年後、20年後の地域を展望すれば、高齢化と人口減少が加速的に進んでいく中で、課題が山積していると思われま

す。本会に参加する各団体、住民の活動は、目的、範囲や形態、対象等に違いがあるかもしれませんが、基本的には、安全・安心のまちを、誰もが願いますが、実現は並大抵ではありません。だからといって、放っておいてよくなるものでもありません。我が街に必要と思うなら、自分で出来る事から始める。無理をしない、細やかであつても、長く続けられるように。結果はすぐに出なくても、前よりは少しマシになったかなくらいの気持ちで続けたいのではありません。

私たちが見守り隊は、地域の学童が事故なく過ごせる環境を目指して活動しています。通りや街角で元気な声を聞き、公園や広場で走り回る姿を見たいものです。そんな様子を眺めながら我々も元気を貰っています。

地域の絆で、少子高齢化を押し戻しましょう。
矢野友義

的には、人と人の絆を深め、安心・安全で明るく暮らしやすいまちを目指すことは共通だと思えます。

中・長期的な長いスパンで見れば、何をすべきなのかは難しく不透明な面もありますが、まずは、現在抱えている課題や問題点を共通認識し、各団体や住民が長年の活動で培ってきた経験やノウハウを生かし、共に知恵を出し合い、それぞれの垣根を越えて課題解決に向けて協力することが大切ではないでしょうか。

本会発足を節目に、「南花台は一つ」の理念で、一人でも多くの方が関心を持つよう、できることからコツコツと地道に活動し、ベクトルを一つにして地域の絆づくりに貢献していきたいと思ひます。 中林幸一